

富士ゼロックスに学ぶ グローバル広報の取り組みと 効果的な英文リリース作成法

《開催要領》

- 日 時● 2015年6月11日(木) 13:30~17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)
- 定 員● 20名

講 師 小池 尚子氏
富士ゼロックス(株) 広報宣伝部 広報グループ グループ長

講師紹介

津田塾大学英文科卒業後、富士ゼロックス入社。ソフトウェアの開発、秘書業務を経て、広報宣伝部配属。英文社内報の企画・編集を担当後、98年に渡米、UCLAにてPRを学び、地元PR代理店でインターンシップを実施後、2000年に帰国。国際イベントを担当したのち、広報業務担当となる。2005年から海外広報に注力、2011年にブランドマネジメント・ソーシャルメディア・海外広報担当マネージャーとなり、2014年10月より現職。



《セミナーの特徴》

- ・講師は第一線の実務家
現役の広報担当マネージャーが、海外実務経験に基づいたノウハウをレクチャー
- ・活用事例も交えた実践的解説
富士ゼロックスにおけるグローバル広報と英文リリースの作成・活用事例に基づいた実践的な講義内容
- ・理解を深めるグループワーク
実際の英文リリース原稿を使って、参加者同士がディスカッションしながら理解を深める

■受講料: 1名(資料代、消費税含む)

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	37,800円(本体価格35,000円)

■参加要領

- ①申込書にご記入いただき FAX で FAX: 03-5215-0951
 - ②当会 Web サイトからオンラインで <http://www.bri.or.jp> または「企業研究会 セミナー」で検索
- ・お申込確認後、開催日の1週間前までに受講票・請求書をお送りします。
 - ・会員企業のご確認、お支払い期限等、ご不明な点は上記サイトの「よくあるご質問(FAQ)」をご参照ください。
- ※最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承下さい。

■お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 事業開発部
担当/鎌田 E-mail: kamata@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3513 FAX: 03-5215-0951
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

(申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。)

FAX:03-5215-0951

151433-0404	富士ゼロックスに学ぶグローバル広報の取り組みと効果的な英文リリース作成法		
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

*申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

6/11
(木)

13:30

【レクチャー】

1. ケーススタディ：富士ゼロックスのグローバル広報体制

- (1) グローバル広報強化の経緯
- (2) 広報宣伝部のグローバル広報方針
- (3) 海外メディアに対するアプローチ増強
 - ・ 英文情報発信のための土台づくり
 - ・ 主な実施施策
 - 中国メディア日本ツアー/AP メディア日本ツアー
 - 在日海外メディアラウンドテーブル
 - 海外での記者会見
- (4) 英文情報の拡充 (Newsroom 開設)
- (5) 英文リリース作成ガイドラインの整備

2. 実践解説：効果的な英文ニュースリリースの書き方

- (1) 英文リリースの基本
 - ・ 目的/基本的ルール/構造
- (2) 要素ごとに注意すべきこと
 - ・ ヘッドライン/リード/ブリッジ/ボディ/引用
- (3) ライティングスタイル
 - ・ 数字の表現
 - ・ その他
- (4) 避けるべき表現



グループワーク (イメージ)

【グループワーク】

進め方

実際の校正前のリリース原稿案を、各グループに配布

↓
実践解説を踏まえて、原稿の修正箇所について意見交換

↓
校正後に配信された実際のリリースと比べて、理解度を確認

【振り返り、総括】

各社のリリースを持ち寄り、情報交換

＝ 参加者アンケートより ＝

- ・ 富士ゼロックス様のグローバル広報の取り組みがたいへん参考になりました。そのままコピーして、うちでも実施したいくらいです。
- ・ グローバル広報では、特にローカルメディアに関する取り組みがとても興味深く、見習うべき点が多かったです。
- ・ 英文リリースの表記ルールなど、基本的な書き方をメディアの視点で解説いただけたことが勉強になりました。
- ・ グループワークで他社の広報の方々とのディスカッションもとても参考になりました。

17:00